

2006年度 第2回 東大本番レベル模試

国語 採点基準

《表記上のルール》

※全問共通のルールです。例外がある場合は、各問の基準で示してありますので、そちらに従ってください。

- ① 枠内の二行書きや解答欄をはみ出したものは不可、0点とする。
解答欄外に書かれた内容は採点の対象外とする。
- ② 文章が途中で終わってしまっている解答は不可、0点。
- ③ 誤字・脱字はきちんと見てください。ひとつにつき、1点減点とします。
- ④ 記述問題における文末の句点（。）のつけ忘れは、1点減点。
(ただし、古文・漢文の口語訳では句点がなくても不問、減点なし。)
- ⑤ 第1問(五)のマス目のある問題で、解答欄の最後のマスに文字と句点を同居させている場合は1点減点。
(小論文ではOKですが、国語の記述問題ではマスを原稿用紙扱いにはしないため、これは字数オーバーになります。)
- ⑥ 文末表現の不備も、1点減点とします。